



箱根強羅、熱海春日町
たど記述している。タ
に別荘をすでに所有し
ウトが見た下多賀の日
ており、新たに下多賀
本らしさを紹介しま
に古民家を移築しよう
す。

温泉・芸妓(げいぎ)

・花火、これらは熱海
を観光都市として今日
まで支え続けてきた。

これらも文化なのかも
しれない。

ドイツ人の著名な建
築家でもあり、一時期
日本に滞在したブルー
ノ・タウトは、熱海に
来訪しており、下多賀
を指して、東洋のリウ
イエラ(南フランスの
有名な避暑地)と絶賛
した。

タウトはエリカ夫人
を伴い避暑を兼ねて下
多賀に滞在した。熱海
別邸(春日町)の離れ
社交室の建築にあた
り、行き来を案じた日
向利兵衛氏が下多賀に
民家を借り受けてくれ
たのだ。

日向利兵衛とほどの
ような人物なのか。

利兵衛は大阪の唐木
屋の長男として育ち、
青年時代から商魂にた
けアジア貿易によって
財を成した。軽井沢、

箱根強羅、熱海春日町
たど記述している。タ
に別荘をすでに所有し
ウトが見た下多賀の日
ており、新たに下多賀
本らしさを紹介しま
に古民家を移築しよう
す。

「タウトの日記」
ある晩、港に神道
の祭礼があった。高張
提灯を捧げた行列が続
き、楽師が笛や太鼓を
奏でている。二頭の大
きな獅子頭は胴になぞ
らえた浅黄色の布を後
ろへ長くのばし、数名
の若者がそれを被って
歩いている。やがて白
い垂紙を捧げた幣束と
供物とが、仮屋に納め
られた。

すべて海
辺、自然の
美学、こう
いう日本の
美学がまだ

文化とは何だろう。

自問自答する日々だ
が、日向別邸は癒やさ
れる空間でもありま
す。

(旧日向別邸保存会会
長)

日本らしさを 求め下多賀へ

中井 正勝



すべて海
辺、自然の
美学、こう
いう日本の
美学がまだ

文化とは何だろう。

自問自答する日々だ
が、日向別邸は癒やさ
れる空間でもありま
す。

(旧日向別邸保存会会
長)